

EA711TA
(検相器)

(特徴)

取扱いが簡単

・リード線クリップを主回路に接続するだけで、相順・欠相の確認が簡単にできます。

・リード線はソケットと一体構造にし、プラグイン方式としているため着脱はワンタッチでできます。

軽量・コンパクト

・重量 130g サイズ 28X60X100mm

・リード線長 1m

安全構造

・リード線と本体の接続部は充電側をソケット式としているため、万一ソケットが外れても充電部が露出しない安全な構造としています。

測定結果はランプで表示

電池不要 (チェック時には回路電圧から供給されます。)



(仕様)

表示方式 ネオンランプ

・周波数 50/60Hz

・測定内容 順相 (正相、逆相) 欠相 接地

・使用温度範囲 -5 ~ 40

・使用電圧範囲 190V ~ 440V (± 10%)

・使用時間 200/220V 連続使用可能

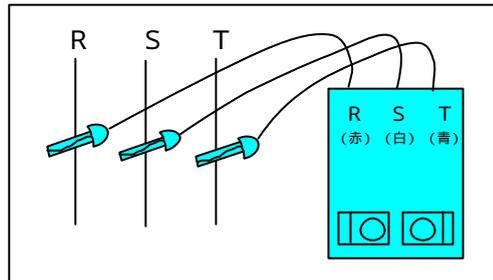
400/440V 5分以内

(使用方法)

・相順の確認

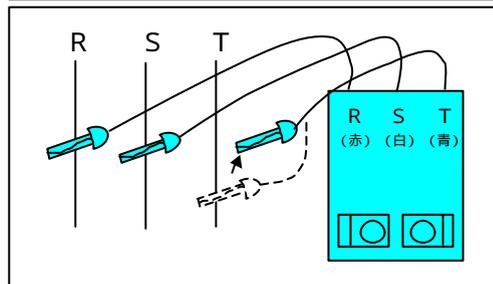
3本のリード線クリップを各電源端子に R (赤)・S (白)・T (青) の順で接続します。判定はランプの点灯状態で行い、その区別は表の取りです。

正相	緑ランプ点灯
逆相	赤ランプ点灯
欠相	緑・赤ランプ点灯



・欠相の確認

緑と赤のランプが点灯している時 3本のリード線クリップのうち1本を取り外します。その時、緑・赤両方のランプが点灯していれば、リード線クリップを取り外した相が欠相です。



・接地極の確認

2本のリード線クリップを接地し、1本のリード線を各電源端子に接続します。ランプが点灯しなければその相が接地されています。点灯すればその相は接地されていないこととなりますが、念のため全ての相を確認してください。

(回路電圧170V未満または停電している場合はランプは点灯しません。)

